

# 目黒稲門会会報



(題字：眞仁田 勉 初代会長)

第85号 2019年12月

発行人：後藤 克彦 編集長：猪名川 一雄 事務局長：吉野 博明  
事務局：〒153-0053 目黒区五本木2-22-6 Tel 03-3713-1684

## 2020年新年会のご案内

2020年新年会を、1月11日(土)目黒 アルコタワー2階の「アルコ ザ ガーデン」にて下記の通り開催致します。

今回は、少し趣向を変えて土曜日の昼間、カフェのカジュアルな雰囲気の中、令和最初の新年会を若々しい気分で迎えようと思います。会場や料理の内容を一新しましたが、新年会に相応しく飲みものも含めて心ゆくまでお楽しみください。

今回は早稲田大学相撲部監督 室伏 渉様(1995年人間科学部卒)をお迎えし、講演をして頂きます。相撲部の活躍の様子など、現場の監督ならではの話を聞かせて頂けるものと楽しみにしております。

皆様には新年ご多用のこととは存じますが、お誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時：2020年1月11日(土)11時30分 開会  
(受付開始 11時)
2. 会 場：目黒 アルコタワー(ホテル雅叙園東京の敷地内にある半円状の19階オフィスビル)2階「アルコ ザ ガーデン」  
東京都目黒区下目黒1-8-1  
電話 03-3491-4111
3. 講 演：11時30分～12時20分  
講師 室伏 渉 氏  
演題 「創部百周年の取組み  
～部員2名からのスタート～」
4. 懇親会：12時30分～14時20分
5. 会 費：会員9,000円、ご家族4,500円  
会費は同封の振込用紙にて12月20日(金)までにお支払い下さい。当日の現金支払いは承りますが、事務手続き簡素化のため事前振込へのご協力をお願い致します。
6. 同封の返信用はがきを、12月20日(金)までにご返送下さい。

(吉野 記)

講師プロフィール 室伏 渉(ムロフシ ワタル)氏

1972年 東京都生まれ

1991年 明治大学付属中野  
中学・高校を卒業  
貴乃花と同期

1995年 早稲田大学人間  
科学部スポーツ科  
学科卒業

1998年 一般企業に就職も指導者としての道を考  
え、母校の明大中野中学高校に勤務

2005年 早稲田大学相撲部コーチ就任

2007年 (株)ケンズアーキテクト代表取締役就任  
(家業を承継するため独立。)

2008年 (株)KGP JAPAN 代表取締役就任

2012年 早稲田大学相撲部監督就任。

2019年 (株)ケンズコーポレーション代表取締役  
就任、現在に至る。

相撲部紹介 創部100年を超える相撲部は、日本の国技として相撲と早稲田大学の伝統を受け継ぎながら日々新たなことに挑戦し続け、自主性を重んじ、文武両道を実践する体育会クラブです。少人数での活動ながら、この100年の由緒ある歴史を次の100年に繋げるべく、一般学生向けに「早稲田杯」開催などを行い、新入部員獲得にも力を入れています。また地域の方々との触れ合う大学主催のスポーツフェスタへの参加や地域で行われるわんぱく相撲のお手伝い、更にはボランティア活動にも力を入れ、稽古以外にも日々精進しています。



## 各部会からの案内・報告

### ウォーキング部会

師走も近くなりますが、天気の良い日にはウォーキングに精を出す時季です。老いも若きも、男性も女性も健康ウォーキングに奮ってご参加ください。お待ちしております。

<実施報告>

9月例会 玉川上水跡緑道を歩く

9月17日(火) 参加 10名

10月例会 武蔵野三十三観音巡り第8回

10月15日(火) 参加 11名

<10月例会に参加して>

武蔵野三十三観音巡り第8回は台風19号の二日後の開催だった。西武池袋線(秩父線)高麗駅に集合。今回の観音さんは国道299号線沿いに点在する。この辺は台風の大きな被害はなかったようだが、路上には激しい雨の痕跡が其処彼処に残っていた。

先ず第28番札所の寶雲山瀧泉寺(真言宗)を目指す。瀧泉寺はお城のそれかと見まがうほどの立派な石垣の上に立つ、1024年創建と伝えられる古いお寺。

再び高麗駅に戻り、一駅先の武蔵横手駅から、第29番札所の清流山長念寺を訪ねる。ここは14世紀初頭、鎌倉時代末期の創建とされる曹洞宗の古刹。当時の板碑が6基残っているそうだ。

ダンプカーの通行が多い299号線に沿って進み、次は第30番札所の楊秀山福德寺(臨済宗)を目指す。ここの阿弥陀堂は埼玉県最古のもので、国の重要文化財に指定されている優れもの。こぢんまりとした造りながら、存在感に溢れたお堂だった。

阿弥陀堂から歩いて5分ほどの東吾野駅で再び秩父線に乗り、次の吾野駅へ。駅前にある第31番札所の補陀山法光寺(曹洞宗)に向かう。簡素な山門ながら両脇に勇壮な石造りの仁王像を見て、境内に入る。ここも観音堂が特徴で、堂の反対側の庭の中には立派な観音像が立つ。

電車を乗り継いだ割には万歩計も捗り有志は何時ものように高田馬場の居酒屋で一献、疲れを癒した。



法光寺観音堂にて

<今後の予定>

11月例会 設立20周年記念ウォーキング～紅葉の長瀬・宝登山を巡る 11月19日(火)～20日(水)

12月例会 神田川支流・蟹川沿いに母校まで歩く  
日時12月17日(火) 午後2時  
集合場所 西武新宿駅 正面口改札外

1月例会 池上七福神巡り  
日時1月4日(土) 午後2時  
集合場所 東急池上線 池上駅改札外

2月例会 武士の町佐倉市を巡る  
日時2月18日(火) 午後1時  
集合場所 京成本線京成佐倉駅改札外

参加される方は下記迄ご連絡ください。

吉野博明 携帯090-1880-3515

ご希望の場所がある方はお知らせください。参考にさせていただきます。

ウォーキング部会長 吉野博明

### カラオケ部会

8月は休会、9月13日(金)の定例会への参加者は6名でしたが、10月11日(金)の部会には永田さんと私の僅か二人しか集まりませんでした。体調不良の人、台風19号の接近を慮った人、他用があった人と理由は様々ですが、二人は史上最少となりました。永田さんから今日は英語の歌だけにしようと言われたので、元英語教師の私も臆気な記憶を頼りに歌ったものの、種が尽きて最後の1曲は日本語の歌になってしまいました。

永田さんは最後まで英語の歌で徹されました。さすがは目黒稲門会カラオケ部会一番の歌手です。

二人だけでは予定の3時間はもたず、2時間がたった6時過ぎに切り上げました。

カラオケ部会長 奥村忠男

### 麻雀部会

1 10月14日(月) 武蔵小山サンにて12名出席、優勝は松尾氏で大勝、2位は鈴木氏、3位は小倉氏でした。

2 12月16日(月) サンにて12時30分より大会が開催されます。奮ってご参加を。

麻雀部会長 鵜野洋治

## ゴルフ部会

ゴルフ部会では、目黒稲門会設立20周年で9月25日(水)・26日(木)に軽井沢での1泊2プレーを実施しました。

初日は狩野さん、川崎さん、村上さんと東京駅の「駅弁屋 祭」で待ち合わせ、思い思いの駅弁を購入して、早朝の新幹線に乗るべくホームへ行くと、駅弁の包みを持った永田さんがおられました。談笑しながら駅弁を食べ、70分ほどで軽井沢へ到着です。心なしか空気が澄んでいるように感じられました。この日のプレーは軽井沢72ゴルフ南コースです。このコースは18ホールスループレーで、食堂はありません。フロント横の売店でおにぎりやサンドイッチを仕入れてカートに乗り込みました。天気は快晴で、浅間山を望めるフラットなコースでした。気持ちの良いラウンドを終え、駅前のビジネスホテルにチェックインしました。しばし休憩ののち、徒歩10分ほどの居酒屋で表彰式と会食を行いました。優勝は安居院さん(グロス89ネット72)、2位は紅一点の保井さん(グロス95ネット72)、3位は服部さん(グロス103ネット76)でした。

翌日は三井の森軽井沢カントリー倶楽部です。この日も快晴でした。朝食はゴルフ場で摂りましたが、玉子かけご飯を注文する人が多くいました。森というだけあって、林の中の急坂を登って登って、次は急坂を下って下ってという難コースでした。当然、スコアは悪く、優勝は私(猪名川)でしたが(グロス99ネット81)で、9オーバーでの優勝はゴルフ部会史上ワースト記録だと思います。2位は保井さん(グロス103ネット85)、3位は安居院さん(グロス99ネット88)で前日の入賞でハンデを減らされているにもかかわらず再度の入賞はご立派としか言いようがありません。

昼食と表彰式は屋外のテラスでした。軽井沢の涼風の中で飲むビールの味は格別でした。企画していただいた大杉部会長に感謝です。



(猪名川 記)

## 囲碁部会

第38回 大学親善囲碁大会が9月8日(日)に日本棋院市ヶ谷本院にて112名の校友囲碁愛好家を集めて開催された。目黒稲門会は保井 正1名の参加でした。私の三人団体戦は4チーム対抗戦でしたが小林光一名誉棋聖のお嬢さんの小林 彩(早大1年)五段が参加されていた。早稲田実業中等部に入學された時母親に連れられていた娘さんがすっかり成長され、早稲田の戦力になっているのに深い感慨を憶えました。

第19回稲穂会囲碁大会が9月22日(日)に初台囲碁クラブにて33名の参加を得て開催された。目黒稲門会からはCクラスに保井 正三段、Dクラスに永田耕治初段、市川 亘7級が参加した。永田耕治初段が優勝、市川 亘7級が3位の好成績でした。主催者から市川さんの碁をみて、しっかりした打ち方なのでうちちょっと上のハンデでよかったとの感想をいただきました。

当部会では9月より秋季リーグ戦を開催しています。優勝者は勝率ではなく勝数なので沢山参加された会員が有利な仕組みになっています。

囲碁部会長 保井 正

## 俳句部会

第121回萩句会

日時 10月14日(月)14時～17時

(順不同)

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 川井素山   | 新蕎麦や暮るる墨田の船灯かり                  |
| 保井寶正   | お台場の砂場に立てば秋の声                   |
| 佐久間喬   | みどり児の泣き足り眠る良夜かな                 |
| 丸山酔宵子  | 紅葉濃し山へと続く登窯                     |
| 吉田啓悟   | 舟底に川の音聞く良夜かな                    |
| 青木英林   | 秋の暮古戦場には人気なし <small>ひとけ</small> |
| 山本草風   | 良夜かな鼠が走る田舎宿                     |
| 佐久間たか子 | 青き空一途に昇る鳶もみじ                    |
| 渡辺鯨波   | あちこちに付箋をつける良夜かな                 |
| 後藤克彦   | ほろ酔いの足元照らす良夜かな                  |
| 永井正孝   | 木の影が主役を演ず良夜かな                   |
| 原 晶如   | チエロ抱いて階段上る秋出水                   |
| 金森純女   | 小雀や野分に乗りて流れけり                   |

俳句部会長 佐久間 喬

## よん月会

本年5月より第4月曜日を開催日とし、「よん月会」と改称しました。多くの皆さんのご参加を得て盛り上げて頂きたくお願い申し上げます(休日でも開催しています)。よん月会部会長 村山 弘

## 食べ歩き部会

### 新そば会に初参加 加瀬裕子(人科学術院教授)

10月10日(木)、麻布の老舗「更科堀井」にて「新そば会」が開催され、初めて参加させていただきました。230年続く老舗で、店の構えにも伝統を彷彿とさせるものがあり、中に入ると懐かしいお蕎麦屋さんの風情です。

メニューをご紹介しますと、前菜4点盛り(鶏、かまぼこ、卵焼き、味噌)という蕎麦屋さん由来の酒のつまみを最初に、そば寿司、そばがき、小海老と三つ葉のかき揚げ天ぷら、更科そば、枸杞(クコ)切りそばが絶妙のテンポで出されました。そば寿司は稲荷寿司と巻き寿司をそばで作ったものです。普通の蕎麦屋さんでは滅多にないもので、やや硬めに茹でた蕎麦の酢の味わいが食欲を誘います。

そばがきは40年ぶりに頂きました。祖父がそば好きでしたので、昔は家でも作ったのですが、「更科堀井」の蕎麦がきはお餅のように白くてツルっと喉を通りました。コースもここまで来ると、もうお腹も一杯になってしまいましたが、ここでかき揚げ天ぷらが登場するので、仕切り直しが出来ます。

小海老と言っても、立派な海老で存在観は満点、三つ葉と一緒にカリカリの衣を着て登場すると、飲み物はビールでなくてはいけません。乾杯した時の残りを探しに行きました。

さて、いよいよ蕎麦が出ます。蕎麦とは、皮をとった蕎麦の実から作るのですから、そば粉を見れば黒い色をしているし、口の中では饅頭よりも固い感じがあるものです。ところが、更科そばは白く輝いています。そのわけは蕎麦の実のシンを磨いて作るからだそうで、実のシンから製造することに成功した「更科堀井」の蕎麦は、麻布辺りの人々の上品な好みにあい、商売が繁盛したのだそうです。

白い更科に枸杞を切り込むと、綺麗な薄紅色のほのかに甘い蕎麦になります。枸杞とは、杏仁豆腐の上に少し飾ってある、あの赤い実です。そう思っていたくどほのかに甘い味は、確かに枸杞だと解ります。

最後に、「新そば会」の雰囲気についてお知らせします。私は、「新そば会」が「食べ歩き部会」であるということ、この原稿を書くにあたって初めて知りました。私は元来、団体行動が苦手なので「同窓会」は避けて参りました。目黒稲門会に入会いたしました理由は、日頃から、大学のシンポジウムの開催や学生の調査などにご尽力いただいている校友の皆様へ御礼の意味で入会したので、自分が部会活動をしていることに驚いた次第です。

「同窓会」というと、大体が成功した人たちの集まりです。ですから、男性であれば過去の仕事の話、女性であれば子供や夫の自慢が多くなりがちだと思っておりました。ところが「新そば会」は、病気の話や過去の自慢話もなく、昔の早稲田大学の学生が部活の帰りに蕎麦屋に来た、という雰囲気でありました。このような気の置けない集まりは、得難いものです。

## 早稲田スポーツ観戦部会

11月3日(日)六大学野球秋季リーグ戦早慶二回戦を14名の会員と応援観戦しました。

前日の一回戦は1-7で完敗、慶大に3季ぶり37度目の優勝を許しました。早大は1回に田口左翼手(4年)の右中間二塁打を口火に、4連続長短打と犠飛で3点を先取り、5回に2点、8回にも1点を奪いました。先発の徳山投手(2年)が6回まで好投、今西(2年)、西垣(2年)、柴田(3年)投手が慶大の追い上げを振り切り、照明点灯の下、4時間に渡る接戦を6-4で雪辱、慶大の91年ぶり10戦全勝優勝を阻止しました。

試合後の渋谷での反省会は早稲田の奮起を称え、紹興酒を酌み交わしました。

なお、我々の応援が効いたのか?翌日の三回戦で早大は9回、金子二塁手(3年)の適時打で4-3のサヨナラ勝ちし、慶大の完全優勝をも阻み、勝ち点3で最終成績を3位としました。(金井 記)



## 女子会ランチ

第6回女子会ランチを8月31日(土)に開催。会員、家族8名が参加しました。

英国在住経験があり、料理教室の先生でもある中西千可子会員のお宅で、英国式のカジュアルなティーパーティーです。質素なイメージのあるイギリス家庭料理も、料理上手の手にかかると思以上のご馳走で、一同盛り上がりました。料理の話題をはじめ、美味しいパン屋さんの情報交換、さらに独身ワセジョへの厳しくも温かな婚活指南(!)など、話が弾みました。仲良く後片付けをして解散。

(石川 記)

## 会員の広場

### 気仙沼にて



川崎真樹子(昭和50年 法)

早稲田大学を卒業して45年、今年ホームカミングのご招待を受けました。

昭和46年に房総半島の先端にある千葉県立安房高校を卒業し、まさかの現役での法学部合格となりました。

勉学に励む予定が、門限のない深夜まで明るい東京の生活、早慶戦、学園祭、さらに、学費値上げ反対ストライキ、2年生のときは、川口君殺害ストライキ、4年生のときに学費値上げストライキ、4年間で試験は一度だけの学生生活となりました。

そして、就職先については、下宿、コネなし、4大卒の女子は要らないと男女の差別に初めてあたり、資格取るしかない現実と直面しました。

ちょっと、かなりの司法試験受験浪人を経験して、弁護士となりましたが、やはり女の弁護士は要らないといわれました。

ところが、男女共同参画という時代の変化のなかで、各種審査会等の委員のお声を頂き、平成16年に目黒区教育委員を拝命し、2期8年務めさせていただきました。

平成18年2月に、目黒のさんま祭りのつながりから、教育委員として気仙沼の教育視察に行かせていただき、気仙沼のさんま祭りの発起人、気仙沼の実業家の教育委員の方とご縁ができました。

平成23年3月11日、東日本大震災、津波、火災に見舞われた気仙沼に、6月、8月に何うもの何もできずに、時間だけが過ぎてしまいました。

平成27年6月、気仙沼の教育委員だった方が、津波で亡くなった姉を偲んだ楽曲のCD発売で東京に来られた折りに、あの被災を目の当たりしながら、瓦礫一つ拾っておらず、ただ傍観していることの妙な後ろめたさがあり、「5年もたって、今さら」という一言から、翌年3月、気仙沼に法律事務所を開設し、既に3年半のときを経過しました。

何ができたのかと問われると答えに窮します。

唯一言えるのは、事務員一人の雇用と事務所、アパート家賃を支払うことはささやかな復興支援でしょうか。

震災前の気仙沼は弁護士二人の過疎地でしたが、震災後7名と過剰供給となっておりますが、女性の弁護士ということで、相談者もそこそこに増えてきましたが、3年たっても、東京との単価が違いなど

もあり、東京の稼ぎで気仙沼の事務所を維持しているのが現状です。

気仙沼に来てから、しばらく、刑事の国選事件の連絡がなく、震災後の気仙沼は身柄を拘束されるような事件がないのかと思っていましたが、気仙沼警察署が津波で流され、仮設のため身柄拘束ができず、近隣の警察署に拘束されていたということでした。

仮設住宅の生活はうつ等の精神疾患を発症させることが多くそれに絡む微罪(暴行、万引き)のような刑事事件があり、更生のための身元引受人がおらず、再犯を繰り返すということが多々あります。弁護士にとって刑事弁護は、その人が更生してくれることが一番のご褒美だけに虚しくなります。

といっても、気仙沼のある方から「私たちはたくさんさんの命、物を失ったけど、震災がなければ知り合えなかった多くの人と知り合えた。あなたもね。」との言葉を頂きました。人との巡り合いという幸せだけは間違いなく頂きました。

また、震災直後に早稲田の学生が夜行バスで気仙沼に来て、瓦礫の処理などのボランティア活動をし、未だ、活動を継続しており「早稲田やるな」とこっそり母校自慢しています。

東日本大震災の後に、日本中で大災害が起きており、自然災害には、想定外、未曾有ということがないことを学ばされています。

気仙沼では、「てんでこ」に逃げろ・・・まず自分の命を守れという教えがあります。それにもかかわらず、この言葉が風化され、津波で多くの人が命を失いました。

震災はどのような脅威であったのか、どのようにして命を守るのかを伝えていくということが大事なことですがなかなか難しいことです。

釜石のラグビー場、三陸鉄道の開通、気仙沼湾の大島に架橋と嬉しいニュースもありますが、まだまだ復興とはほど遠いのが実情です。

気仙沼では猫もまたぐ「猫マタギ」と呼ばれていたさんまがこの数年不漁となり、来年で25年を迎える目黒のさんま祭りもいつまで続けられるのかという切迫した状況も起きてきていますが、気仙沼のさんま祭り関係者は、「さんまは目黒に限る」のだから、目黒のさんま祭りだけは続けたいという熱い思いを持っておられます。

東京から片道4時間半というとてつもない遠隔地で、温泉もないところですが、気仙沼は目黒区の友好都市ですので、美味しいお酒と魚は用意致しますので、私が音を上げて東京に帰ると言う前に、是非、お出かけください。

## 銭湯経営三代



小林 博（昭和47年 法）

私の父は油面交番向かいの和泉湯（昭和9年創業）の三男で、昭和25年に鷹番にあった「陸湯」（大正10年創業）を買い取り、「栄泉湯」と改称して独立しました。私は長男として昭和23年10月に出生。したがって、銭湯は私で三代目になります。

当時の浴場業界は極めて隆盛だったようです。しかし、父は浴場購入費用返済のため休業日は月1回、営業開始は午後2時、終了は午後11時、日曜日は午前8時から朝湯に続いて通常営業。これは私が小学校時代の頃までの店の営業時間でした。栄泉湯の陣容は女中さん4人、番頭さん2人、それに両親。従業員は全員住込みで家族同様、食事も皆一緒でした。妹2人を含めた合計11人の大世帯でした。

銭湯のことを当時関東の業界では湯屋（ゆうや）と呼んでおり、風呂屋という言葉は主に関西で使われていた。銭湯なる言葉は昭和40年代始めまでは使った記憶が無い。入浴料金は、昭和35年17円、40年28円、42年32円、47年48円、48年59円、49年75円、50年100円、51年120円、52年140円、55年195円、56年270円、58年240円、59年250円（全て大人料金）。昭和50年からの上げ方が激しい。目黒区内の公衆浴場数は昭和47年の64軒をピークに減り始め、ちなみに現在は11軒。

栄泉湯にも徐々に時代の影が現れ始める。住込みの女中さん達は嫁いだりしていなくなり、昭和38年前後にはパートさんだけとなった。家族労働の比重が徐々に高まりだしてきた。

昭和61年、世の中はバブルに燃えていたが我が栄泉湯では建物、設備の老朽化は明らかであり、周囲の浴場と比べてもかなり見劣りしていた。

昭和62年、それまでの懸案をすべて乗り越えるようなプランを携え、未知の業者が大阪からやって来た。半信半疑で聞いていた我々は、綿密な市場調査など近代的な手法で採用をせまってくる業者にエネルギーな「大阪」を感じ魅惑された。単に入浴するだけの湯屋ではなく、様々な装置を巡らした浴槽を楽しみ、「湯遊びひろば」にするという、これまでの東京の業者にはない発想に驚いた。その業者は「大一」という。大一の手掛けた関西の浴場を数カ所見て回った。そこにあったものは、まさに自称していたとおりスーパー銭湯であった。その頃の日本には、現在のスーパー銭湯なるものは1軒も存在していなかった。大一が初めて「スーパー銭湯」

の名称を使用したのであった。革新的な手法に感心して決意を新たにし、大一に賭けることにした。

昭和64年暮れ、栄泉湯の解体が始まった。

平成2年12月開店。屋号は、ポカポカランド鷹番の湯。地名を入れることによって地域性を強調する。「ポカポカランド」にはだいぶ違和感もあったが、大一の建築シリーズ統一名称として押し切られた。私を育ててくれた「栄泉湯」は会社名として残すことになった

入浴料金は昭和60年260円、63年280円、平成1年295円、2年310円、6年350円、12年400円、26年460円、令和1年10月から470円。

ポカポカランド鷹番の湯は1階浴室が吹き抜けになっている2階建て浴場。東京には当時無かった強力なジャグジー類、常に浴槽水表面が流れ落ちていく流れ風呂、滝風呂、当時は都条例で禁止されまもなく解禁の予定だった露天風呂、籐敷きの脱衣場。広いロビーを用意し、一角には畳敷きの和室。新浴場建設が決まると解体1年前から新浴場の為の井戸掘削工事が始まった。掘削工事開始半年後、これは温泉らしいとの連絡が入った。開業後、中央温泉研究所に分析依頼。結果は水温17度ながらメタケイ酸、メタホウ酸含有の立派な温泉であるとの分析結果が出た。まなじりを決しての営業は、年中無休、正月営業をも厭わなかつた。だが、有り難いことに世間の注目を集める存在として、鷹番の湯の経営は返済に苦しみながらも順調に推移した。また、当時カメラマンとして売出し中の町田忍さんが、鷹番の湯の存在を広く世間にアピールしてくれた。この頃、沈滞衰微する浴場業の蘇生を真剣に考えていた同業者の見学が相次いだ。そして、鷹番の湯をきっかけにして、数年後には都内に意欲的な浴場が次々と出現したのである。この頃、これらの浴場を称して、ニュー銭湯と呼んだ。鷹番の湯では、スペース、労力、排煙公害など総合的に検討し、燃費増大のマイナス面を上回る利点を持つ「ガス焚き」にすることになった。都内でもまだ数例しかない方式であった。同業者の間では、燃費の問題で冷笑されていた方式であった。現在では、供給力や公害問題等で重油焚きはほとんどなくなり、ガス焚きが一般的になっている。このガス焚きとなったことと相まって、鷹番の湯の給湯システムも一新された。始めの頃は年中無休で頑張ってきたが、2～3年後からは月2回の休みで通してきた。年末年始は客足が遠のくと言われていたが、休まずに営業してきた。実際には、普段に倍する程の混み具合であった。

開店当初幼稚園児だった2人の息子も、紆余曲折はあったが、私が内心望んだ通り2人揃って早大商、早大政経へ進んでくれて一安心した。

## 目黒わが町自慢

鷹番 後藤克彦（昭和42年 文）

9月9日大型台風の去った朝。我が家の中庭に落ち葉に混じって棒が動いた。何と蛇-青大将？一瞬に狭い隙間に逃げ込んだ。目黒区役所の環境計画課に電話。今や絶滅危惧種ですので、区では駆使や捕獲等は行ってなく、そっとしていれば餌を求めて別の場所に移動しますとの回答をいただいた。

緑多い街とは思えませんが希少動物もいる「鷹番」。昔の目黒の姿を今に伝える数少ない地名「鷹番」。江戸時代、この地に鷹番屋敷が設置されていた事に由来すると言われています。鷹番小学校内にある立札には「江戸時代、目黒周辺には代々の徳川将軍がしばしば鷹狩りに来ていました～」等から「鷹番」はそんな時代を語るものです。文献には将軍家鷹狩りの際の陰の演出者として活躍した綱差役 川井権兵衛さん(会員の川井信義さんの御先祖)の話が記述されています。1日乗降人員78251人(2018年)の東急東横線「学芸大学駅」を囲むように位置します。駅前には東西に商店街。ケーキの有名店「マツタホン」やミシュラン星の持つ割烹「すずき」も駅近く。スタバやマック、ケンタッキーフライドチキン、いきなりステーキはもちろん家族的レストラン(イタリアン、フレンチ、スペイン、中華)や焼肉、焼き鳥、蕎麦屋、居酒屋等で賑わっています。またクリニック(歯科、眼科、皮膚科、内科、整形外科等)も数多くあり、病名いくつも持つ高齢者にとって、近くにあり大変便利です。マニアックな本中心の古本屋や前衛的な花屋、真空管主体のコーポネントステレオ店や昼の短時間だけ営業する讃岐うどん店等と興味わくお店も多い街です。1、2、3丁目とマンションやアパートが多い住宅地が広がっています。駅前以外は静かなところ。便利で住みやすい町「鷹番」です。その後、あの希少動物は隣りの五本木か碑文谷に行ったのか行方不明のまま。



学芸大学駅前商店街

## 目黒の銭湯巡り

効明泉 金井豊男（昭和41年 理工）

会報第81号で中目黒にある光明泉(こうめいせん)が紹介されたが、今回は祐天寺の「こうめいせん」効明泉である。

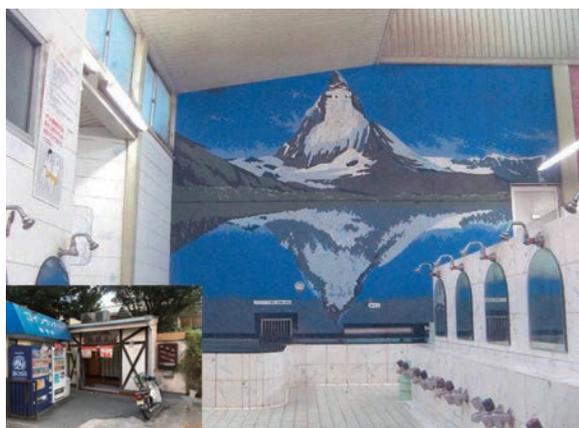
東急東横線祐天寺駅より徒歩3分、駒沢通り祐天寺交差点先右側の焼き鳥屋「ばん」を右に曲がった細い道路を入った住宅地内に潜む入り口も昔ながらの銭湯である。

暖簾を潜ればおしどり錠の下足箱。戦前よりの客を迎えていたためか木札は角が摩滅して鍵が一部壊れている。ロビースペースに足を踏み入ると、正面にフロントがある。フロントで居眠りしていた女将に銭湯料金460円を払って、脱衣場へ。脱衣場は、木の板の床で、レトロな雰囲気漂っている。独立したコインランドリー棟との間には、竹で囲われた前栽、2本の木が植えられている。さらに傍らに置かれた8寸角はある檜の角材による気品と存在感に満ちたベンチ。檜材の戦前の大黒柱がベンチとして余生を送っている。所々に同湯の歴史を垣間見ることができる。

本湯の特徴の一つは、浴場が麦飯石(ばくはんせき)でできた大風呂、超音波湯、寝湯、座湯である。麦飯石はミネラルなどの鉱質を豊富に含んだ石材(皮膚病を治す漢方薬に使用)で湯治場にいる気分になれる。

第二の特徴は、浴槽上の壁画である。多くの銭湯の壁画は日本の象徴・富士山であるが、本湯の壁画は、男湯はヨーロッパの名峰マッターホルン、女湯は(残念ながら確認出来なかったが)モンブランをタイル画で描いている。タイル画は若干色あせているものの、先代が御自ら瀬戸の工房に出向き仕様を指示したとのことだ。同じ雪山でも、富士山とは違った味わい深さを感じられる。

効明泉は、和と洋の雰囲気を同時に備えた個性的なレトロ感あふれる銭湯である。



## 会員ギャラリー

### 「すずめのお宿緑地公園竹林」 写真

大野利幸（昭和35年 理工）

本年9月中旬に目黒区碑文谷にある目黒区立「すずめのお宿緑地公園」の竹林を写したものである。当地一帯は、昭和初期頃迄、たけのこの生産が続き、一帯の竹林にはすずめが多く飛び交い、いつしか「すずめのお宿」と呼ばれるようになった。

竹林の間から注がれる自然光の美しさと公園の静寂さに感動した。



### ——2019稲門際——

久しぶりに秋晴れとなった10月20日（日）、2019稲門祭が開催されました。今年のテーマは「走れ!! WASEDA -世界へ 未来へ 襷（たすき）をつないで-」。昨年12月に完成した「早稲田アリーナ」では、ホームカミングデーの式典、開会式、音楽祭（第九合唱）、スポーツサミットが行われました。

キャンパスでは各地の稲門会や年次稲門会による模擬店や物販店が大賑わいでした。

目黒稲門会は例年通り大隈庭園の芝生ステージの前列中央に陣取り、秋の日差しに照り付けられながらお酒を片手にチンドンステージ、バンド演奏、キッズチアリーディング、ニューオルリンズジャズ、ビッグバンドジャズおよびフラダンスを楽しみました。そして、最後はいつものように高田馬場駅前前で2次会。また大いに盛り上がりました。（金井 記）



### 設立20周年記念会員作品展

設立20周年を記念して、本年7月7日の総会に引き続き祝賀会を開催しました。お陰様で来賓20名の方々にご臨席頂き総勢85名で盛大に祝賀会を行いました。

その後、記念事業として設立記念特集号を2019年8月23日発行、9月25日～26日に記念ゴルフ大会、11月19日～20日に記念ウォーキング部会を開催、2020年1月22日～24日には記念旅行部会を予定しています。

20周年記念事業の最後に、会員とその家族の協力で、本会のさらなる発展に寄与できることを願い、締めくり企画として、会員やご家族のご参加による作品展を下記の要領で開催致します。

会 期 : 2020年2月4日(火)～9日(日)  
(初日15時から、最終日15時まで)

会 場 : 目黒区美術館区民ギャラリー  
東京都目黒区目黒2-4-36  
JR 山手線「目黒駅」徒歩約10分  
TEL : 03-3714-1201

展示作品 : 絵画・写真・書・俳句・俳画・彫刻・  
陶芸刺繍・工芸等

出品者 : 目黒稲門会会員およびご家族  
申込、問合せ : 事務局へご連絡願います。

電 話 : 03 - 3713 - 1684

F A X : 03 - 6701 - 7575

メール : meguro-tomonkai@nifty.com

設立20周年記念事業委員会

目黒稲門会設立20周年記念会員作品展

開催日 : 2020年2月4日(火)～2月9日(日)  
10時～18時(初日15時より、最終日15時まで)  
場所 : 目黒区美術館区民ギャラリー  
目黒区目黒2-4-36  
主催 : 早稲田大学校友会東京都23区支部目黒稲門会  
URL : <http://me96tomon-waseda.la.coocan.jp/>